

- ◆企画名 Idea を形に！～イベントパートナー募集～「関大生1万人の笑顔写真展」  
日 程 平成24年11月1日(木)～11月4日(日)  
場 所 総合学生会館凜風館1階 学生ラウンジモニター裏  
参加者数 スタッフ14名(ピア・サポータ5名、研修生2名、一般学生7名)、  
来場者 約4000名

#### 目 的

- ・主催者の自己実現のサポート
- ・企画を実現する構想の過程で「発想力」「問題解決力」や「人と関わる力」を育むこと
- ・関西大学の中でイベントを行い成功させ、関西大学への帰属意識を高めること

#### 内 容

凜風館1階、学生ラウンジモニター裏で企画を行った。約6500枚の写真を貼り、展示するだけでなく「ありがとうのことば」という企画を並行して行った。Twitterのハッシュタグ機能を利用し、普段感じているが言葉にできなかった小さな感謝の気持ちや、ぜひ伝えたい感謝の気持ちを振り返ってもらい、つぶやいてもらう企画である。会場にインターネットに繋がったパソコンとトレーシングペーパーを利用した透過性のスクリーン、プロジェクターを用意し、リアルタイムでつぶやきが見られる仕組みを用意した。

企画中は途切れることなく来場者が訪れ、1日目、2日目、4日目は各日800名ほどの来場があった。一番来場数が多かった3日目(目玉イベントが多くあり、学園祭自体に来場者が多かったと思われる)は1000人以上の来場があり、延べ4000名程度の来場者があった。来場した方たちは自分や友達の写真を探したり、壁一面の笑顔写真を見て感動している様子であった。

駐在スタッフは、誘導や写真撮影の禁止の促すことや、また、来場者の方と交流をしていた。

#### 感 想

当日は想定していたよりも沢山の来場があった。6500枚もの関大生の笑顔に囲まれ、写真の笑顔につられて自然と笑顔になっている方もいた。活気のある外とは変わって凜風館1階ではゆったりとした異空間を演出していた。主催者側としても、企画を成功させたことで、アイデアの実現のサポート、また、沢山の関大生が企画を通して来場したことで帰属意識の向上という目的も達成できたと思う。

しかし、企画の持ち込みの時点でほぼ完成していたため、KUSPの企画力の向上に繋がったかは疑問が残った。

企画実施中には撮影禁止であったが、撮影されている方が多く見られ、撮影禁止の周知の徹底が図れなかったことも問題であった。また、掃除が時間内に終わらせることが出来ず、大学側に迷惑をかけてしまった。

#### 改 善 点

・事前準備の段階で広報をKUSPに知らされないまま行われていたこと、渉外の情報共有の不十分なところがあった。

→管理側という意識を徹底してもち、密な渉外、企画会議を行うべきだった。

・持ち込みの段階でほぼ完成に近い形であったので、企画を通してKUSPが関わった部分が少なかった。

→「Ideaを形に！」の企画のアイデアを選定する際の基準を作り、プランナーとしてスキルをつけることが出来るような研修の実施を勘考していく。